



理事長	副施設長	事務局長	総務係長	担当	経理	受付

令和03年12月23日 提出

復命書

みだしの内容について下記のとおり復命します。

職名 報告者	西新屋博文
-----------	-------

研修名 (主催等)	令和3年度 沖縄県障害児者施設連携研修会
日時 及び 期間	自 令和 03年 12月 16日 12:00 ~ 16:00 至 年 月 日 : ~ : (日間)
講師名	又村あおい：我如古盛健：美原の里利用者
開催地(会場)	リモート開催
研修参加者	
研 修 内 容	
<p>◆12：30～14：00 講義 障害者の権利擁護と障害者虐待防止法の概要と課題（動画視聴）</p> <p>◆14：10～14：50 講演 ※ご自身が障害者となった頃の気持ちや現在に至るまでの体験談等をご講演いただきます。（NPO法人サポートセンターケントミ代表・我如古盛健氏）</p> <p>◆14：50～15：05 利用者インタビュー（美原の里利用者）</p> <p>◆15：05～16：00 シンポジウム「障害者虐待防止法・権利擁護について」</p> <p>◆16：00 研修終了</p> <p>【研修を終えて】</p> <p>※美原の里に入所されている利用者からの声で、職員は良かれと思って〇〇ちゃんや下の名前を呼び捨てで呼ぶ職員が居るけど、本人達からしてみれば、学生時代ではないし、一人の大人として見てほしいと言う声がありました。利用者と職員の距離感の違い。長らく務めている内になあなあになっている事、それが利用者からしては虐待に当たる事に気づかされました。生活介護でも特別支援学校からの卒業生がいて、卒業しても学校での呼び名の流れや、家族さんの呼び方をマネて利用者に接している事が多く、家族さんだから許される事だと思知らされました。職員・利用者様の距離感を今一度職員へ伝え、虐待と思われない支援を心がけたいと思いました。</p>	



理事長	副施設長	事務局長	総務係長	担当	経理	受付
						

令和03年11月17日 提出

復命書

みだしの内容について下記のとおり復命します。

職名 報告者	西新屋博文
-----------	-------

研修名 (主催等)	令和3年度 強度行動障害支援者養成研修 (実践研修) 行動援護従業者養成研修 (後期分)
日時 及び 期間	自 令和 03年 11月 13日 09:00 ~ 17:15 至 令和 03年 11月 14日 08:30 ~ 17:00 (2 日間)
講師名	山城健児・喜納卓也・謝名美香・松田健一・玉城一吉・喜久川政博・遠藤尚宏
開催地(会場)	リモート開催
研修参加者	嶺井裕人・長田修吾・西新屋博文

研 修 内 容

11月13日 (土)

【講義 1】 9:40~11:40 支援を組み立てるための基本・強度行動障害への支援に必要な知識

【演習 1】 12:40~13:40 アセスメントの方法・具体的なアセスメントの方法

【演習 2】 13:50~15:50 アセスメントの方法・障害特性に基づくアセスメント

【演習 3】 16:00~17:00 手順書の作成・アセスメントに基づく支援手順書の作成 (1)

1日のまとめ 17:00~17:15

11月14日 (日)

【演習 4】 8:50~10:50 手順書の作成・アセスメントに基づく支援手順書の作成 (2)

【演習 5】 11:00~12:30 記録の分析と支援手順書の修正・記録の方法・記録の分析と支援手順書の修正

【講義 2】 13:30~14:30 組織的なアプローチ・組織的なアプローチの重要性

【講義 3】 14:45~15:15 実践報告・チームによる支援の実際

【演習 6】 15:30~16:30 関係機関との連携・関係機関 (医療機関等) との連携の方法

『研修を終えて』

◆現在利用されている利用者に強度行動障害の方は居ませんが、今後利用する利用者が来た場合には、関係機関との連携や、家族・相談員との情報の共有を細かく行い、その利用者が安心して利用し在宅生活を送れるような計画書のプランを作成する必要があると感じました。